

委員会報告(文教厚生委員会)

令和4年度土岐市一般会計補正予算(第6号)(所管部分)

- 質疑** 寄附を受けた金塊の売払収入について、金の価格が上昇している中、売払い時期は妥当であったのか。
- 答弁** 寄附者から奨学基金に活用してほしいという意向があり、スケジュールを組み、早めに現金化した。
- 質疑** コンビニ交付システム導入事業について、証明書の交付時間に制限はあるのか。
- 答弁** 毎日朝6時30分から夜11時まで交付する予定である。
- 質疑** 情報漏洩、セキュリティに問題はないのか。
- 答弁** 専用の通信ネットワークの利用、証明データの偽造防止処理等の対策を行う。
- 質疑** 給食食材の価格高騰による不足分の給食費への補てんについて、来年度以降も検討しているのか。
- 答弁** 物価額の推移が不透明であり、現在検討中である。

土岐市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例について

- 質疑** これまでの固定資産税の課税免除の実績は。
- 答弁** 現時点で実績はない。

令和3年度土岐市一般会計決算の認定について(所管部分)

- 質疑** 総務費の空家等除去支援事業補助金について、実際の倒壊危険空家に対して補助件数が少ないように思われるがどのように分析しているのか。
- 答弁** 過去の調査からも補助要件に当てはまる危険空家はそれ程多くないが、今後もホームページ等で周知に努める。
- 質疑** コロナの影響により収入が激減された方に対する徴収猶予の件数は。
- 答弁** 167件である。
- 質疑** 住民票等コロナ関連の証明手数料の減免件数と金額は。
- 答弁** 1,129件、減免額は33万8,900円である。
- 質疑** 民生費の生活困窮者自立相談支援事業について、相談件数の状況は。
- 答弁** 令和2年度228件、令和3年度79件と減少傾向である。
- 質疑** 保育園等で会計年度任用職員が担任を受け持つ状況は改善されているのか。
- 答弁** 若干名、会計年度任用職員が担任を受け持つっており、継続して保育士確保に努めている。
- 質疑** 児童館へのハイブリット空気清浄機の設置について、どこの児童館に設置したのか。
- 答弁** 全児童館5館に設置した。
- 質疑** 衛生費の医師確保奨学資金等貸付事業について、対象者は何名か。
- 答弁** 支給対象者は12名である。
- 質疑** 産後ケア事業について、利用者がいなかった理由は。
- 答弁** コロナの影響もあり、宿泊を要する相談がなかったためである。
- 質疑** 教育費の通学路防犯カメラ設置事業について、土岐津、泉中学校区に設置しているが、設置箇所はどのように選定しているのか。
- 答弁** 学校長、学校運営協議会会長を交え、学校で設置箇所の選定を行った。
- 質疑** いじめ・不登校対策事業の小中学校教育相談員の配置状況は。
- 答弁** 各小学校1名ずつ、14名の相談員を配置している。
- 質疑** 学力向上推進委員会をコロナの影響によりオンラインで実施したとのことであるが、どのように評価しているのか。
- 答弁** 各校の実践発表について、タイムリーな意見交換が難しいことから参集型の方がよりメリットがある。

質疑 放課後教室の利用状況は。

答弁 登録者数は、令和2年度から260人減少しているが、利用者は35%増となっている。

討論 会計年度任用職員に保育園等の担任を受け持たせている状況があり正規職員に転換すべきである。一病院化については、市民の不安もあり見直しが必要であり、この決算に反対する。

令和3年度土岐市国民健康保険特別会計決算の認定について

質疑 1人当たりの保険料の推移は。

答弁 令和2年度が96,423円、令和3年度が93,215円である。

質疑 収納率の向上に積極的に努めているが、差し押さえ件数は何件か。

答弁 97件である。

質疑 基金を積み増して、かなりの残高になってきているが、その分で保険料を引き下げることができなかったのか。

答弁 県の保険料水準の統一化で、保険料が急激に上昇する場合等を想定する必要がある。令和4年度では基金を繰り入れ保険料の抑制に努めている。

討論 基金を積み増しているが、コロナの影響を考慮し、その年度の保険料抑制に充てるべきであり、この決算に反対する。



令和3年度土岐市介護保険特別会計決算の認定について

質疑 保険給付費の予算残が生じた主な要因は。

答弁 コロナの影響による利用控え及び地域密着型特別養護老人ホームの入所者が見込みより少なかったのが主な要因である。

質疑 介護給付費準備基金積立金を積み増しているが、基金を活用して保険料を抑制することはできないのか。

答弁 第8期介護保険事業計画において基金の繰り入れを勘案した上で3年間の保険料を設定している。基金が増加していることについては次期計画において活用を検討したい。

討論 保険給付費は横ばいで基金は大幅に増加している。基金の活用を含め保険料を抑制すべきでありこの決算に反対する。



令和3年度土岐市後期高齢者医療特別会計決算の認定について

質疑 さわやか口腔健診について、受診者が倍増した要因は。

答弁 令和3年度から瑞浪市、恵那市でも受診できるようにした。また、未受診者への受診勧奨を行い、医療機関に協力要請した。



令和3年度土岐市病院事業会計決算の認定について

質疑 入院・外来患者数の減をどのように分析しているのか。

答弁 コロナの影響及び一部診療科で常勤医師が退職したことが主な要因である。

質疑 老人保健施設やすらぎの入所者の減をどのように分析しているのか。

答弁 職員の確保が難しい状況で、療養体制を縮小していることが主な要因である。

質疑 駄知診療所の診療体制はどのようになっているのか。

答弁 令和3年度途中から医師の退職により、診療日が週3回、午前のみとなっている。



委員会報告(総務産業建水委員会)

令和4年度土岐市一般会計補正予算(第6号)所管部分

- 質疑** 過誤納還付金が1億3,000万円ほどあるが、その内訳は。
- 答弁** コロナ関連補助金の返還金が1億円程度、その他生活保護の負担金の返還金等である。
- 質疑** 電気、ガス料金の高騰によるセラミックパークMINOの負担金は、148万6,000円の増額であるが、他自治体の負担額はどの位か。
- 答弁** 負担額は持ち分割合で、岐阜県が503万円、多治見市が792万円、瑞浪市が88万円程度である。

市道路線の廃止について

- 質疑** 市道82364号線を廃止する理由は。
- 答弁** 土岐多治見北部連絡道路の新設により、新たに認定した市道と重複するため廃止するもの。

令和3年度土岐市一般会計決算の認定について(所管部分)

- 質疑** 総務費の広報とき配布業務について、何件の町内会に配布しているのか。
- 答弁** 250町内会に配布している。
- 質疑** 緊急情報、市政情報のLINE、メールでの発信について、登録者は何人か。
- 答弁** 令和4年3月の登録者は7,047人である。
- 質疑** ポストコロナ社会実験調査研究事業について、どのような調査を行ったのか。
- 答弁** テレワーク環境の評価、事業展開に向け、市民、名古屋近郊の企業・事業所等へアンケート調査を行いニーズを把握した。
- 質疑** 定住促進奨励金について、主にどこから転入されているのか。
- 答弁** 瑞浪市15件、多治見市13件など岐阜県内から47件。愛知県から24件などとなっている。
- 質疑** 共助のまちづくり補助金について、どのような活動に対して補助をしたのか。
- 答弁** 町内の憩いの場としてバス停跡地に植栽やベンチを設置した事業に補助をした。
- 質疑** 労働費の勤労者住宅資金融資原資について、利用促進の取り組みは。
- 答弁** 利率を店頭表示価格から0.1パーセント下げる等の措置を取り、利用促進を図っている。
- 質疑** 農林水産業費の多面的機能支払交付金事業補助金について、鶴里、曾木、肥田地区以外で補助対象者はいないのか。
- 答弁** 農振農用地でまとまった農地が確保できる地域が対象となり、組織の設立が必要となるため限定される。
- 質疑** 商工費の工場用地開発可能性調査の調査結果は。
- 答弁** 環境センター隣接地について調査し、事業費はかかるが工場用地の適地として可能性があるという調査結果となった。



質疑 美濃焼のうつわを楽しむ暮らし事業について、すり鉢セットを新生児何人に贈呈したのか。

答弁 すり鉢、離乳食レシピ、陶育の絵本をセットとし、299人の新生児へ贈呈した。

質疑 土岐プレミアム・アウトレット線試験運行の利用状況は。

答弁 10月から3月までの土日祝日に運行し、利用者は延べ3,005人であった。

質疑 陶磁器試験場の原子吸光分析装置の更新による効果は。

答弁 年間4,000件を超える依頼があり、安定して滞ることなく試験を実施することができた。

質疑 観光パンフレット「土岐ぶらキュン」は、どのような内容となっているのか。

答弁 QRコードを付け観光施設を紹介する動画をリンクしたパンフレットである。

質疑 土木費の妻木南部土地区画整理事業について、進捗率はどの位か。

答弁 令和3年度末で工事費ベース81.9パーセントである。

質疑 公園施設長寿命化計画に基づいた改修工事は何件行ったのか。

答弁 西公園、津路公園、上田公園等7箇所の改修工事を行った。

質疑 健康遊具の設置について、何箇所の公園に設置したのか。

答弁 総合公園に、サーキット形式の健康遊具を6基、その他5公園に3基ずつ設置した。

質疑 消防費の救急救命士就業前研修について、救急救命士の救急車への搭乗率は何パーセントか。

答弁 当直勤務で救急車に搭乗している確実勤務者は19人で、搭乗率は99.6パーセントである。

質疑 災害時の食料、飲料水の備蓄について、何人分の備蓄をしているのか。

答弁 県が発表している南海トラフ地震の土岐市の避難者数は5,510人で、発災から2日間、6食分の3万3,060食を備蓄している。

質疑 ブロック塀等撤去事業補助金について、19件の補助実績であるが、まだ危険箇所は残っているのか。

答弁 通学路を中心に調査をしているが、まだ多くの危険箇所が残っている。

討論 令和4年度からは交付を受けていないが、電源立地地域対策交付金を市職員の人件費に充てることは、不適切であるため、この決算に反対する。

討論 電源立地地域対策交付金は使途基準に基づき適正に執行されており、この決算に賛成する。

令和3年度土岐市水道事業会計決算の認定について

質疑 有収率が85.36パーセントであることについてどのように考えているか。

答弁 漏水対策を実施しているが上昇率は0.03パーセントと微増である。今後も有収率を高めるよう努めていきたい。

質疑 水道管の耐震化率は何パーセントか。

答弁 36.5パーセントである。



令和3年度土岐市下水道事業会計決算の認定について

質疑 有収率が公共下水道68.11パーセント、農業集落排水は29.22パーセントであることについてどのように考えているのか。

答弁 かなりの量の不明水が管に入ってきている。老朽管の更生を進め、有収率を高めるよう努めていきたい。